



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月12日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
コード番号 6408 URL <https://www.oguraclutch.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 兼グローバル財務部長 (氏名) 竹内 修 (TEL) 0277-54-7101
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	32,990	0.6	397	773.2	585	114.5	337	—
2024年3月期第3四半期	32,790	1.8	45	△77.1	273	△61.4	△159	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 597百万円(△50.5%) 2024年3月期第3四半期 1,207百万円(△37.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	225.26	—
2024年3月期第3四半期	△106.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	46,060	15,880	34.5	10,613.65
2024年3月期	48,599	15,357	31.6	10,263.59

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 15,880百万円 2024年3月期 15,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2025年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	0.0	290	—	410	—	180	—	120.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社 (社名) 、除外 3社 (社名) オグラクラッチ・ド・ブラジル・リミター
ダ、東洋クラッチ株式会社、小倉離合機 (無
錫) 有限公司

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (当四半期累計期間における連結範囲の重要な変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期3Q	1,553,323株	2024年3月期	1,553,323株
2025年3月期3Q	57,077株	2024年3月期	56,978株
2025年3月期3Q	1,496,289株	2024年3月期3Q	1,496,490株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済につきましては、底堅い回復も見られましたが、ウクライナ情勢・中東地域の地政学リスクの長期化、中国経済の景気減速に加え、米国新政権における政策動向に絡む不透明さの増大などにより先行き不透明な状況が続いております。

日本経済につきましても、好調なインバウンド需要や雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復が続いておりますが、資源価格の高騰、為替・株式市場の変動、不安定な国際情勢等が景気を下振れさせるリスクとなっております。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、32,990百万円と前年同期と比べ199百万円の増加(前年同期比0.6%増)となりました。営業利益は397百万円と前年同期と比べ351百万円の増加(前年同期比77.2%増)、経常利益は585百万円と前年同期と比べ312百万円の増加(前年同期比114.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は337百万円(前年同期は159百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、新規ビジネスの開始、為替換算の影響等もあり、輸送機器事業全体では売上が増加しました。

その結果、売上高は23,964百万円と前年同期と比べ802百万円の増加(前年同期比3.5%増)となり、セグメント利益は285百万円(前年同期は38百万円のセグメント損失)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、主要業種であるモータ、昇降・運搬、変・減速機等への売上が減少したため、一般産業用事業全体でも売上が減少しました。

その結果、売上高は8,708百万円と前年同期と比べ561百万円の減少(前年同期比6.1%減)となり、セグメント利益は109百万円と前年同期と比べ17百万円の増加(前年同期比19.5%増)となりました。

③ その他

その他では、売上高が317百万円と前年同期と比べ40百万円の減少(前年同期比11.4%減)となり、セグメント利益は2百万円(前年同期は7百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、棚卸資産の減少等により30,433百万円(前期末比2,308百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により15,626百万円(前期末比229百万円減)となりました。その結果、資産合計は46,060百万円(前期末比2,538百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、電子記録債務の減少等により23,406百万円(前期末比1,816百万円減)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により6,774百万円(前期末比1,244百万円減)となりました。その結果、負債合計は30,180百万円(前期末比3,061百万円減)となりました。

純資産につきましては、利益剰余金の増加等により15,880百万円(前期末比522百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2024年11月12日に公表いたしました2025年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,665	7,988
受取手形及び売掛金	7,906	7,866
電子記録債権	3,150	2,678
商品及び製品	5,364	4,182
仕掛品	3,258	3,313
原材料及び貯蔵品	3,828	3,614
その他	718	822
貸倒引当金	△151	△31
流動資産合計	32,742	30,433
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,688	5,698
その他(純額)	7,502	7,370
有形固定資産合計	13,190	13,069
無形固定資産		
その他	779	730
無形固定資産合計	779	730
投資その他の資産	1,886	1,826
固定資産合計	15,856	15,626
資産合計	48,599	46,060
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,927	3,877
電子記録債務	4,153	3,411
短期借入金	14,612	13,892
未払法人税等	95	92
賞与引当金	312	79
その他	2,122	2,052
流動負債合計	25,223	23,406
固定負債		
社債	1,200	1,200
長期借入金	4,709	3,716
繰延税金負債	661	645
役員退職慰労引当金	739	725
退職給付に係る負債	222	173
その他	484	313
固定負債合計	8,018	6,774
負債合計	33,241	30,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,751	1,751
利益剰余金	9,671	9,933
自己株式	△352	△352
株主資本合計	12,928	13,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	208	236
為替換算調整勘定	2,061	2,314
退職給付に係る調整累計額	158	139
その他の包括利益累計額合計	2,428	2,689
純資産合計	15,357	15,880
負債純資産合計	48,599	46,060

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	32,790	32,990
売上原価	28,067	27,914
売上総利益	4,723	5,075
販売費及び一般管理費	4,678	4,677
営業利益	45	397
営業外収益		
受取利息	25	76
受取配当金	36	31
為替差益	315	99
不動産賃貸料	41	44
その他	81	230
営業外収益合計	500	482
営業外費用		
支払利息	201	231
手形売却損	10	1
その他	60	61
営業外費用合計	273	294
経常利益	273	585
特別利益		
移転補償金	33	—
関係会社株式売却益	—	145
特別利益合計	33	145
特別損失		
固定資産除却損	1	14
関係会社整理損	—	90
特別損失合計	1	104
税金等調整前四半期純利益	305	626
法人税、住民税及び事業税	348	290
法人税等調整額	116	△1
法人税等合計	464	289
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△159	337
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△159	337

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△159	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	153	27
為替換算調整勘定	1,234	252
退職給付に係る調整額	△22	△19
その他の包括利益合計	1,366	260
四半期包括利益	1,207	597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,205	597
非支配株主に係る四半期包括利益	1	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であるオグラクラッチ・ド・ブラジル・リミターダの全株式の譲渡を完了したため、連結の範囲から除外しております。

中間連結会計期間において、当社の連結子会社であった東洋クラッチ株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であった小倉離合機(無錫)有限公司は、当社の連結子会社である小倉離合機(長興)有限公司を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,341百万円	1,402百万円
のれんの償却額	17	14

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,162	9,269	32,432	358	32,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	44	9	54	—	54
計	23,207	9,279	32,487	358	32,845
セグメント利益又は損失(△)	△38	91	53	△7	45

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	53
「その他」の区分の損失(△)	△7
四半期連結損益計算書の営業利益	45

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	23,964	8,708	32,673	317	32,990
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	12	19	—	19
計	23,972	8,720	32,692	317	33,009
セグメント利益	285	109	395	2	397

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	395
「その他」の区分の利益	2
四半期連結損益計算書の営業利益	397

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	8,295	5,775	14,071	303	14,375
中国	794	2,734	3,529	—	3,529
アジア(中国除く)	5,075	212	5,288	—	5,288
アメリカ	6,449	395	6,844	52	6,897
欧州	1,912	16	1,928	0	1,929
その他	634	135	770	1	771
顧客との契約から生じる収益	23,162	9,269	32,432	358	32,790
外部顧客への売上高	23,162	9,269	32,432	358	32,790

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
日本	8,385	5,257	13,643	241	13,884
中国	469	2,684	3,153	—	3,153
アジア(中国除く)	4,320	248	4,569	—	4,569
アメリカ	7,335	269	7,605	64	7,670
欧州	2,365	24	2,390	3	2,393
その他	1,087	223	1,310	7	1,318
顧客との契約から生じる収益	23,964	8,708	32,673	317	32,990
外部顧客への売上高	23,964	8,708	32,673	317	32,990

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業及び一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

当社は、2025年2月12日開催の取締役会において、以下のとおり固定資産を譲渡することについて決議いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産効率の向上及び財務体質の強化を図るため、当社が保有する以下の固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

譲渡資産の内容及び所在地	譲渡益	現況
オーバルコート大崎マークウエスト 土地：東京都品川区東五反田二丁目550番1 敷地権対象面積3,533.10㎡のうち、当社共有持分100万分の47,392 建物：東京都品川区東五反田二丁目550番地1、550番地2 延床面積28,575.80㎡のうち、当社専有部分面積697.52㎡	438百万円	賃貸用不動産

※譲渡価額及び帳簿価額につきましては、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきますが、市場価格を反映した適正な価格での譲渡となっております。また、譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡に係る費用等の見込み額を控除した概算額を記載しております。

3. 譲渡先の概要

譲渡先につきましては、国内の法人であります。譲渡先の意向により公表を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間に記載すべき資本関係、人的関係及び取引関係はなく、関連当事者にも該当いたしません。

4. 譲渡の日程

取締役会決議日	2025年2月12日
契約締結日	2025年2月予定
物件引渡日	2025年3月予定

5. 業績への影響

当該固定資産の譲渡により、2025年3月期において固定資産売却益として特別利益に計上する予定です。